

中央部
技術部長

長尾 木下俊郎

神戸地方委員

松永 太郎

大阪地方委員會

關大生 梶本 恭次郎

印刷局員

ヲ檢舉シ之等ノ取調ニ依リ、翌二十二日拂曉、市外北河内郡守口町土居一四番地丹羽光方ニ於テ、決死的ニ踏ミコンダ山中警部ノ指揮スル特高課員六名、今福署員十八名ノ手ニ依リ

中央委員

濱口又ハ南畢

大阪地方オトル

前 前納 善四郎

中央部技術部員

與謝又ハ小山畢 向 仲 寅之助

ノ兩名ヲ雖ナク逮捕スルヲ得タ。前納ハ尋常小學卒業後來阪シ、市内港區泉尾町泉尾綿毛株式會社職工トシテ約三年、住吉區藤永田造船所附近ノ山本紡績會社職工トシテ約一ケ年滞阪シ、十九才ノ時上京、東

京日清紡績會社職工或ハ某齒科醫ノ養生等ト稼働先ヲ驟轉シテキタガ大正十二年歩兵第五十一聯隊ニ入營シテ伍長勤務上等兵トナリ、退營後、名古屋驛又ハ東京沙止驛等ニ於テ驛仲仕ヲナシ、昭和二年九月東京合同労働組合ニ加盟シ、全三年九月同組合爭議部長トナリ、全四年一月二十五日頃日本共產黨ニ入黨シ、東京合同労働組合「フタクシヨント」テ活動中全年三月普選職ニ檢舉セラレ、取調中寺島署ヨリ逃走シ爾來労働者出身ノ中央委員トシテ黨内ニ重キヲナシテキタ。又與謝事向仲寅之助ハ京都府立宮津中學四年中途退學シテ上京、博文館、新潮社等ノ活版工又ハ事務員トシテ稼働中大正十二年ノ秋、關東出版労働組合ニ加盟シ、全十三年十二月、春日庄次郎、服部麥生其ノ他ト共ニ入黨シ、其ノ後服部ト同一ノ行動ヲ採リ共ニ歸還シ、四・一六事件後黨中央部ニ新ニ設ケラレタ技術部ニ長トシテ金策（黨活動資金ノ募集印刷並ニソノ配布、連絡等ノ事務ニ専從シテキタガ、其後前記木下ニ其地位ヲ讓ツタモノデアル。（尚本人ノ手記シタ「入黨ヨリ歸還迄」